

TAMASHIN Report 2020.12

2020.04.01 - 2020.12.31

— 多摩の明るい未来を目指して —



多摩信用金庫



第3四半期までの取り組みと その結果についてご報告します。

いつも**たましん**をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にある中で、新しい生活様式への対応など、新たな社会課題が顕在化してきています。デジタル化への対応や働き方改革など急速に変化する社会・経済環境において、お客さまが抱える課題も多様化・高度化しています。たましんは、お客さまと役職員の安全を確保した上で、今まで以上にお客さまの課題解決に取り組み、経営理念である「お客さまの幸せづくり」を実現してまいります。今後も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

理事長 **八木 敏郎**

— 多摩地域の活性化のため、さまざまな活動に取り組んでいます。 —

新型コロナウイルス感染症に対するたましんの取り組み

《企業価値向上のための取り組み》 クラウドファンディング活用支援

新型コロナウイルス感染症の拡大が地域経済へ影響を及ぼす中、企業・事業者の販路拡大やマーケティングに関する支援として、クラウドファンディングの活用サポートに取り組んでいます。10月から12月にかけて、4件のプロジェクト立ち上げ支援を行いました。



飲食店のプロジェクト事例

《生活スタイルの変化に合わせた情報提供》 すまいるオンラインセミナー

2020年10月から従来の「来店型」すまいるセミナーに加え、新たな手法として「オンライン」での開催を開始しました。新型コロナウイルス感染拡大を受けて外出することが難しく、セミナーへの参加を懸念されていたお客さまや、遠方に住むご家族との参加を希望されていたお客さまから「自宅で参加できてよかった」とのお声をいただいています。



役立つ情報をオンラインで

《信用金庫連携による地域創生》 圏央道の宝物グランプリ 2020-2021 (しんきん圏央道アライアンス)

連携協定「しんきん圏央道アライアンス」を結んだ圏央道沿線に本・支店を置く5つの信用金庫(水戸信用金庫、埼玉縣信用金庫、千葉信用金庫、平塚信用金庫、多摩信用金庫)は、ポストコロナ社会を見据え、広域連携による地域経済の活性化等に取り組んでいます。その取り組みの一環として、日本財団「わがまち基金」の助成を受け、「圏央道の宝物グランプリ 2020-2021」を開催しました。各地域から参加した企業・事業者が業界や地域を越えた3回の対話型セミナーを通じて、自社商品のブラッシュアップや参加者同士のコラボレーションによる新商品開発に取り組み、外部有識者より評価を受けました。



新商品のプレゼンテーションの様子

たましんトピックス

第18回多摩ブルー・グリーン賞

18回目を迎えた多摩ブルー・グリーン賞は167件のご応募をいただきました。最優秀賞に森田テック株式会社(技術・製品部門)、株式会社VRC(経営部門)、その他優秀賞4件、多摩みらい賞7件及び特別賞2件を決定し、12月14日に表彰式を行いました。



第18回多摩ブルー・グリーン賞表彰式

通帳アプリ(通帳レス口座)利用開始フェア開催

12月14日から通帳アプリ(通帳レス口座)利用開始フェアを開催中です。通帳アプリ(通帳レス口座)なら、利用開始後最大2年分の取引明細が確認できます。さらに紙資源の削減につながり、通帳紛失・盗難の心配もなくなります。詳しくはホームページをご確認ください。



12月14日から開催中

多摩大学との包括連携協定締結

多摩大学と包括連携協定を締結しました。開学以来「実学教育」を一貫して実践してきた同校と緊密な連携を図ることで、多摩地域の発展や産業振興に貢献していきます。



協定書を取り交わす寺島学長(右)と八木理事長

多摩の物産&輸入品商談会2020 秋

企業・事業者の販路拡大支援の一環として「多摩の物産&輸入品商談会2020 秋」を開催しました。

当日は大手バイヤーとの取引を希望する68社が参加し、2日間で105件の商談が行われました。



ソーシャルディスタンスを確保した商談の様子

リ・バース60 取扱開始

セカンドライフの不安を解消し、夢を実現するため、たましんでは、「たましんリバースモーゲージローン」に加え、「たましんリ・バース60」の取扱いを開始しました。「たましんリ・バース60」は年金収入に加え、給与・事業所得での審査が可能で、50歳からお申し込みいただけます。詳しくはホームページをご確認ください。



2020年12月1日取扱開始

学資保険 新商品取扱開始

お子さまの教育資金を計画的に準備する「こどもすくすく保険」の取扱いを2020年12月から開始しました。お子さまの進学等に合わせて、学資・満期祝いをお受け取りいただける学資保険です。今後もお子さまの未来を応援するための取り組みを充実させていきます。



お子さまの「夢」をかなえるお手伝い

多摩地域観光情報交換会

多摩地域の観光関連機関が各々の取り組みを共有し地域の観光振興に活かすことを目的に、多摩地域観光情報交換会を開催しました。コロナ禍における観光事業の課題や、地域資源を活用した観光振興の重要性について、互いに認識を深める機会となりました。

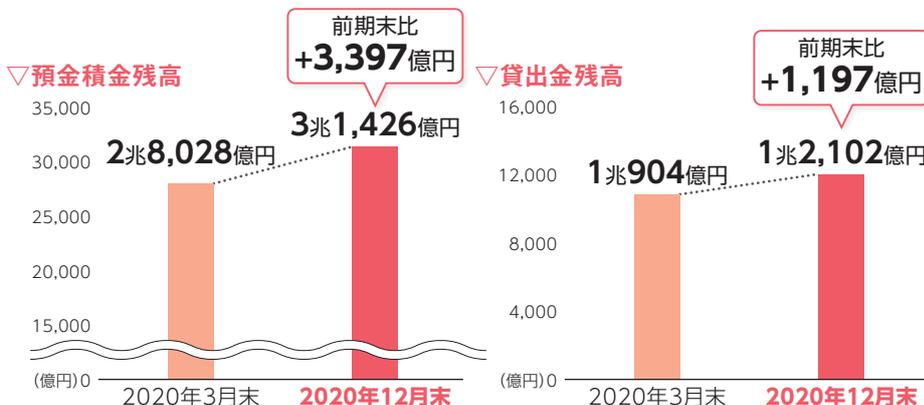


情報交換会の様子

預金・貸出金について

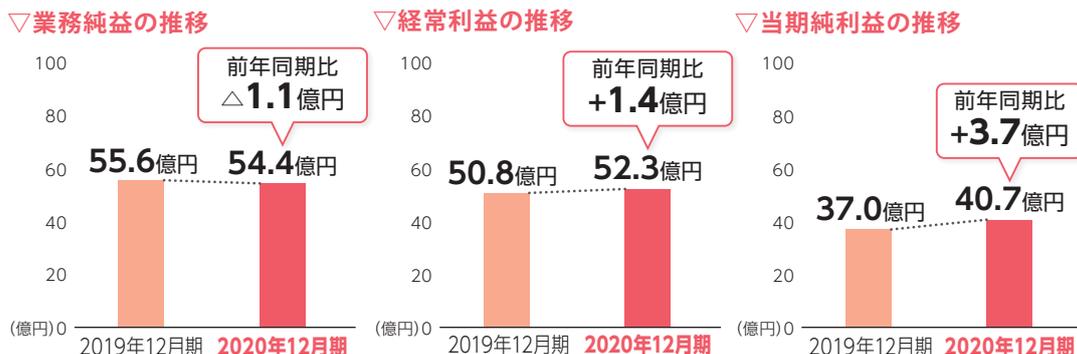
地域の皆さまが抱える課題の解決に取り組んだ結果、預金積金残高は前期末比3,397億円増加し3兆1,426億円となり、貸出金残高は前期末比1,197億円増加し1兆2,102億円となりました。貸出金について内訳をみると、事業性のご融資は1,196億円増加、個人のお客さまのご融資は1億円増加しました。

※ 個人のお客さまへのご融資には、個人事業者向け住宅資金・消費資金等が含まれます。



損益について

業務純益は、貸出金残高の増加などに伴い貸出金利息が増加したものの、市場環境を踏まえ有価証券利息配当金が減少しました。これに伴い、前年同期比1.1億円減少の54.4億円となりました。経常利益は前年同期比1.4億円増加の52.3億円、当期純利益は40.7億円となりました。



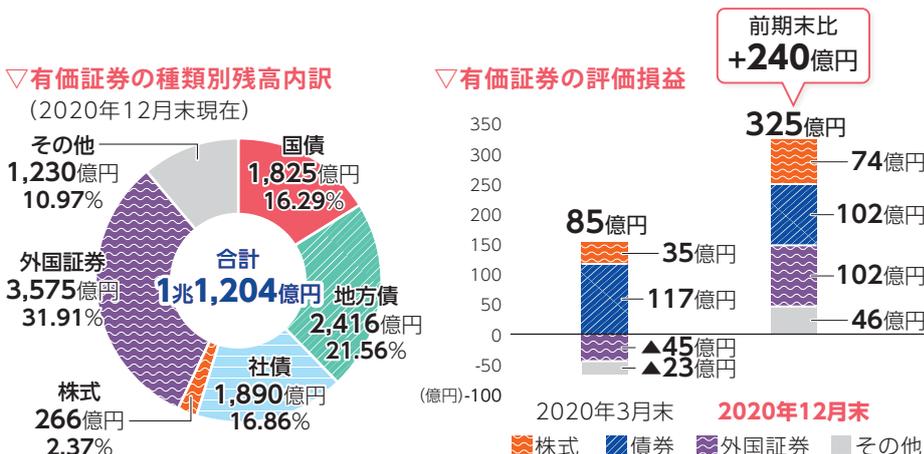
有価証券について

資金運用については、中長期的に安定した運用を心がけ、各種リスク管理を行ったうえで、国内外の債券を中心に株式や投資信託等に分散投資しています。

新型コロナウイルス感染症拡大懸念等により相場は大きく下落したものの、その後は回復基調で推移したこと等により、保有有価証券の評価益は325億円となりました。

※ 有価証券の種類別残高は2020年12月末における貸借対照表計上額です。

※ 右図の「その他」は、投資信託等です。



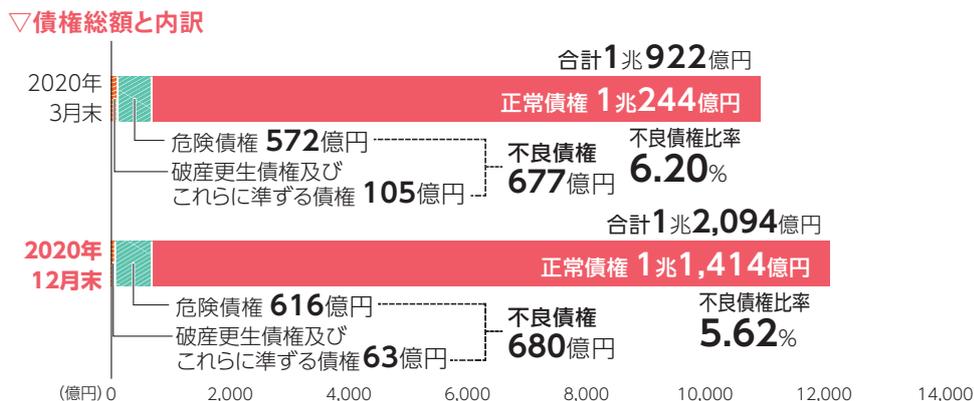
不良債権について

金融再生法開示債権のうち正常債権を除く開示額は前期末比3億円増加し680億円となりましたが、債権総額の増加により不良債権比率は0.58ポイント低下し5.62%となりました。不良債権のうちの80.74%は担保・保証や貸倒引当金によって保全され、残りの19.25%にあたる131億円についても、自己資本により、全額カバーされています。

※ 金融再生法開示債権は、貸出金のほか、外国為替、債務保証見返、仮払金、未収利息、たましんが保証する私募債を対象としています。

※ 2020年12月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」から、部分直接償却予定額として41億円を控除しています。

※ 要管理債権の残高はありません。



○本誌に掲載している計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいています。また、会計監査人の監査を受けていません。

○原則として単位未満切り捨て表示のため、合計・前期末比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

○月末時点の計数については「〇年〇月末」、期間中の計数については「〇年〇月期」として項目表示しています。

